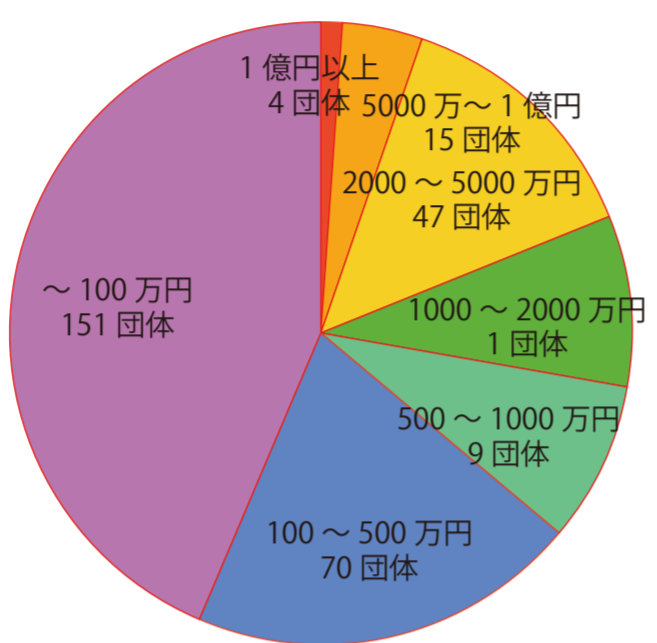


◆わかやま NPO センターへのインターン学生から一言 ◇森田大河さん NPO が地域をもっと盛り上げようという意図が伝わってきた ◇中川晃伸さん 和歌山のためにと頑張る団体がこんなに多いとは思ってなかった ◇西谷典香さん NPO が様々な想いをもって活動していることがわかった ◇中家詩織さん NPO の活動が思っていた以上に幅広いことに驚いた ◇坂田昇也さん 取材などで様々な NPO が活動しているということを知ることができた

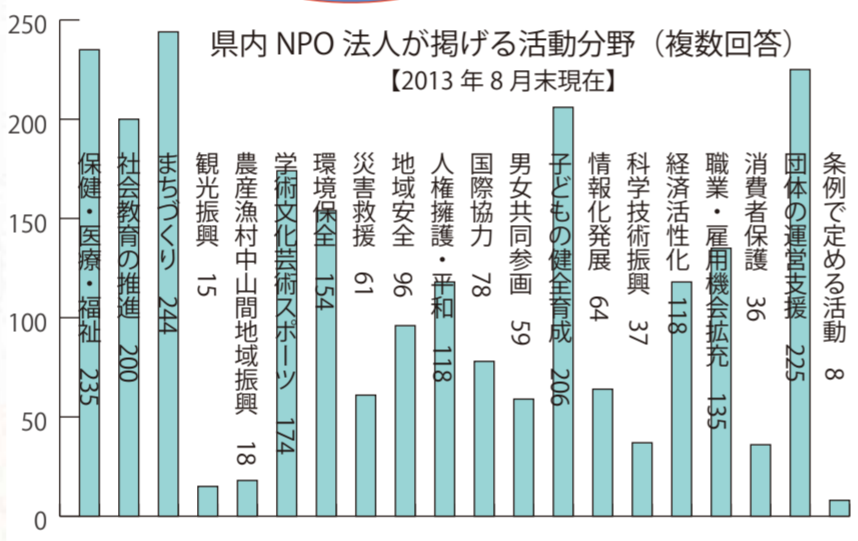


県内 NPO 法人の経済規模、約 41.5 億円に

わかやま NPO センターは、このほど和歌山県に対して提出されている県内 NPO 法人の事業報告書を分析し、県内 NPO 法人の経済規模が年間約 41 億 5000 万円に達していることが判明しました。これは和歌山県内の桃の産出額（年間約 44 億円・2009 年／和歌山県統計より）に迫る額で、NPO 法人の経済規模がますます大きくなっていることを示すものとして注目されそうです。



県内 NPO 法人の直近年度の収入規模の分布 (13年8月30日集計)



この調査は和歌山県が所管している NPO 法人が法律に基づいて年に1回、和歌山県に対して提出している事業報告書から、直近年度の活動計算書(収支決算書)の数値を分析したものです。対象となった団体数は347で収入総額は約41.5億円となりました。昨年は11年度の事業報告書のみを集計して NPO 法人の経済規模を約37.5億円と算定し、林業産出額とほぼ同額となりました。しかし、法人によって事業年度の終了月が異なることから今年「公開されている直近年度」の報告書をもとに分析したため、単純比較はできませんが、NPO 法人の経済規模は少しずつ大きくなってきていることがうかがえます。

調査の結果を詳細にみると、年間収入300万円を超えている団体が145団体と全体の4割超と、昨年調査とほぼ同じ水準になっています。ところが1千万円を超える団体は97団体と昨年調査の1.5倍に、5千万円を超える団体は19団体と約2倍に増加しています。

347団体の平均収入は約1200万円ですが、これは額が大きい団体が平均を引き上げているためで、収入額の順に団体を並べたときの中間の順位の収入は約145万円です。法人間の差が広がっていることがうかがえます。これは介護保険や障害福祉サービスのような法的制度を活用している団体が実績を伸ばしていること、行政の事業を受託している団体が増えていることなどが理由として考えられます。

寄付金を受けている NPO 法人は149団体と全体の4割超。10万円以上の寄付は93団体、100万円以上の寄付は31団体を受けている団体はしっかりと寄付を得ている傾向がうかがえます。

もちろん、NPO 活動の善し悪しは収入の額で決まるものではありません。個々の活動もとても大事ですが、今回は安定した活動を進めるための指標のひとつとして財政に注目をしました。

なお、県庁に提出された事業報告書等は県庁や和歌山県 NPO サポートセンターで閲覧できるほか、一部は内閣府のウェブサイトで確認できます。

調査の概要
今回の調査から

県内 NPO の動向

昨年4月に NPO 法改正があり、NPO の活動分野が3つ追加されましたが、このうち「観光の振興」「農産漁村又は中山間地域の振興」を掲げる法人が最近目立っています。また、水害や地震を見据えて災害救援活動を掲げる法人が増えています。地域のニーズに素早く応えることができ NPO 法人の活躍の場はますます広がります。

わかやま NPO センターでは今回の分析結果をもとに、和歌山県内の NPO にとって有益な事業の検討を進めます。また紙面でもご紹介しますので、ご期待下さい。(志場久起)

みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- kisssh-kisssssh 映画祭
和歌山市加太地区で初開催される映画祭。様々なイベントも。日程 9月21日(土)・22日(日) 場所 和歌山市加太地区 内容 野外映画上映、公民館等屋内での映画上映、トークイベント、ワークショップなど 入場料 2日通し券 5,250円、1日券 3,150円。当日参加の場合は各ブースで料金が発生。問い合わせ Kisssh-Kisssssh 映画祭事務局 (073-494-6258、メール info@kisssh-kisssssh.com) 備考 詳細はウェブサイト。
- いじめ・不登校の現場から
直面している深刻な教育問題に私たちはどうアプローチしていくべきなのを考えます。日時 9月23日(月・祝) 10:00～12:00 場所 和歌山 YMCA 会館 講師 桜井智恵子さん(大阪大学 教育学部教授) 参加費 無料(事前申込み必要) 問い合わせ・申込み YMCA 学院高等学校和歌山センター (TEL・FAX 073-473-3338・9:00～19:00)
- まちなか読書会 大好きな本のおしゃべり会
休日の朝、ゆったり気分で大好きな本の話をしてませんか。お気に入りの一冊を通じて読書好きの仲間の輪を広げましょう。日時 9月28日(土) 9:30～11:00 場所 Deli+Table ti.po (和歌山市畑屋敷葛屋丁) 参加費 無料ですが、1ドリンクオーダーをお願いします(事前申込み必要) 申込み わかやまイネ！プロジェクトまで氏名、当日連絡先、参加人数を記載し27日17時まで info@wakayamaiine.com ホームページ。備考 おすすめの書籍を持参下さい。
- お城再建 55 フェスタ
再建 55 周年の和歌山城をお祝いしましょう。日程 9月28日(土)・29日(日) 場所 和歌山城天守閣前広場 内容 語り部による紙芝居、お城ウォーク、朗読劇、和太鼓演奏、アクションステージなど 参加費 無料(両日は天守閣も無料です) 問い合わせ みんなにやさしい和歌山をつくる会 (070-5262-3116、080-3119-1745、メール 834wakayama@gmail.com)

このほかの情報もたくさん掲載！「わかやまイベントボード」URL PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/ 携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

地元力財団の設立を記念して実施した「わかやま地元力 AWARD2013」。7月27日に表彰式を開催し、採択団体の皆さんに今後の展望をお聞きしています。採択団体はこちらでご覧いただけます。http://jimotoryoku.jp/award/



特定非営利活動法人いきいき和歌山がんサポート 副理事長 石井浩子さん

どのような「ほっとけない」地元の課題に取り組んでいますか？

私たちは、がん患者とその家族が集まる病院外サロンを運営しています。親しい友人や隣近所に悩みを打ち明けられないがん患者は、自宅に閉じこもりがちで気軽に出かけられほっとできる場所を必要としています。同じ悩みを抱える患者同士だからこそ細やかな気遣いができ、サロンは県内各地の病院に広まってきました。現在はがん診療連携拠点病院7カ所で開催されています。ただ、病院内サロンは平日日中のみ開催しているため、仕事しながら闘病している患者は参加することが難しく、また自宅近くの病院だと誰に見られているか分からないといった不安も聞かれます。病院外サロンをもっと開催して欲しいというニーズに応え、7月からは和歌山県立図書館でもサロンを始めました。

採択を機にどのような活動を展開していきますか？

昨年度から実施しているがん患者ピアサポーター(がん患者とご家族の相談や悩みに応じるため専門的なトレーニングを受けたがん体験者)養成講座を今年度も実施できます。初回の修了生は24名でしたが、もっと多くのピアサポーター

が必要と。ピアサポーターの養成とトレーニングを受けたピアサポーターがリーダーとなり活躍できるサロンを両輪で広げていきたいと考えています。

応援パートナーの皆様メッセージをお願いします。

現在は月数回のサロンですが、がん患者が聞きたい、行きたいと思ったときにいつでも相談できる常設サロンを開発・運営することが私たちの目標です。常設サロンにはピアサポーターを配置し、がん患者だけでなく、がんかもしれないと不安を抱えている一般の方からも相談を受け付けます。また和歌山には抗がん剤の専門知識を持った腫瘍内科医が少ないため、がん患者や家族の皆さんと一緒に声をあげていきたいと考えています。

information
特定非営利活動法人いきいき和歌山がんサポート
〒640-8267 和歌山市芝ノ丁8番地 電話 073-427-6050
メール ikiiki@jimotoryoku.jp HP http://jimotoryoku.jp/ikiiki/